

# 2015年度 センター試験 生物基礎（本試験） 分析

## 全体概況

試験時間 2科目で60分

大問数・解答数	大問数：3題	解答数：16問
<p>総評</p> <p>教科書の内容に沿った、基本的な問題で構成されている。実験結果をもとに考察を求めるような、難度の高い問題は出題されなかった。計算問題の出題はあったが、教科書に記載の数値を覚えておけば解ける問題であった。したがって、教科書レベルの基礎知識をしっかりと学習してきた受験生にとっては、容易に解くことができたと思われる。</p> <p>いずれの問題もリード文が3～6行程度と短く、生物基礎に費やす時間を30分と仮定した場合、時間内で十分解答できる問題量であった。</p>		

## 大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	コメント
第1問	A…細胞と代謝 B…遺伝子	20点	Aは実験や観察によく用いられる生物（ゾウリムシなど）について問われた問題であった。 Bはヒトの遺伝子の個数を覚えていれば、容易に解くことができる。
第2問	A…体液 B…免疫	15点	Aは肝臓やホルモンについての基本的な問題であった。 Bは免疫に関連してHIVやアレルギーについて問われていた。
第3問	A…バイオーム B…生態系	15点	Aは基本的な問題ではあるが、受験生が見落としがちな樹木の性質や地理的分布に関する問題であった。 Bは生態系についての基本的な問題であった。